

## 第2回

# 仙台市デジタル化推進検討懇話会

## 次 第

- (仮称)仙台市DX推進計画の方向性について
- 意見交換
- その他

# (仮称) 仙台市DX推進計画の方向性

- 新型コロナウイルスの感染が拡大し、生活様式や働き方に大きな変化が生じました。
- 新たな社会に的確に対応するため、デジタル化を直ちに進める必要性が高まりました。
- 本市において、デジタル社会の構築に向けた取組みを迅速に、かつ着実に進めていくために、本計画を策定いたします。

- この計画は、本市のデジタル化に関して取り組む内容を示すものであり、「仙台市ICT利活用方針2016-2020」を継承するものです。
- 仙台市基本計画によるまちづくりをデジタル化の面から下支えし、まちづくりの理念である「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」の姿をより質の高いものとすることを目指しています。
- 官民データ活用推進基本法第9条第3項による「市町村官民データ活用推進計画」として位置づけられるものです。
- 次のふたつのデジタル化について推進を図り、仙台市らしさを表現した計画とします。

<b>まちのデジタル化</b>	地域のポテンシャルや文化などに根差し、まちの魅力を高めるデジタル化
<b>行政のデジタル化</b>	国の「自治体DX推進計画」の重点取組事項である、行政手続きのオンライン化などの行政サービスの向上や市政運営の効率化・高度化を行うデジタル化

例

自治体DX推進計画の  
記載内容

- 情報システムの  
標準化・共通化
- マイナンバー  
カードの普及促進
- 行政手続の  
オンライン化
- AI・RPA の  
利用推進
- テレワークの推進
- セキュリティ対策  
の徹底

## まちの デジタル化

## 行政の デジタル化

例

自治体DX推進計画の  
記載内容

- 地域社会の  
デジタル化
- デジタルデバイド  
対策
- オープンデータの  
推進

## 計画期間

- 社会情勢の変化や求められる行政ニーズを見極めていくため、計画期間を2021年(令和3年)6月から2024年(令和6年)3月までとします

## DX等の定義

- 本計画におけるDXの定義は以下の通りとします

単なる新しいデジタル技術（ICT）の導入ではなく、  
制度や政策、組織の在り方等をそれに合わせて変革し、  
地域における様々な課題の解決や社会経済活動の発展を促していくこと

- DXを実現するためには、データとICTを効果的に活用すること、すなわち、デジタル化を進める必要があります

仙台市情報化基本計画	平成4年3月策定。「仙台市総合計画2000」において「情報化の推進」をまちづくりの基本的課題としたことに対応。
仙台ITアクションプラン	平成14年7月策定。概ね3年ごとに改定しながら情報化を推進。
仙台市ICT戦略 2011-2015	平成23年8月策定。より質の高い市民サービスの実現を目的とした。
仙台市ICT利活用方針 2016-2020	平成28年3月策定。下記方針に則り取組みを推進。 ① まちづくりを支える高度なICT利活用 ② 緊急時等に効果を発揮するICT利活用 ③ 攻めの業務改革に向けたICT利活用 ④ 強靱な情報セキュリティの確立
デジタル化 ファストチャレンジ	令和2年11月公表。以下に取り組むこととした。 ・ 窓口手続きのデジタル化 ・ デジタルでつながる市役所 ・ デジタル化で市役所業務の改善

仙台市基本計画では「市政運営の基本方針」に次のように掲げており、この方針に従って市政運営におけるデジタル化を進めます。

## デジタル化により豊かな市民生活を実現させる

- これからの都市経営においては、飛躍的に進化するデジタル技術を積極的に取り入れ、市民サービスの充実や地域経済の活性化につなげるのが重要です。その実現に向け、専門性の高い人材の育成や情報リテラシーの向上を図ります。
- 行政手続きのオンライン化や簡素化、様々な情報にアクセスしやすい環境づくりを進めることで、市民サービスの利便性を向上させるとともに、子育てや教育、福祉など暮らしに関わる様々な分野において、デジタル技術を課題の解決や双方向性のコミュニケーションの促進に活かすなど、多様な選択肢があり、豊かで安心して生活を送ることができる環境をつくります。
- また、デジタル技術の活用を地域経済の活性化や持続可能な都市の運営につなげるため、産学官金の連携等により、様々なデータの収集及び活用をはじめ、先進的な実証実験やスマートシティ型のまちづくりを推進するなど、新たな価値の創造に向けた取り組みを進めます。

スマートシティとは：ICT等の技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体として最適化が図られた都市または地区

## デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針

- 「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」というビジョンが掲げられた
- また「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を進めることとされた

## デジタル・ガバメント実行計画の改正

- 自治体の情報システムの標準化・共通化の推進、マイナポータルの活用等による自治体の行政手続きのオンライン化などが盛り込まれた

## 自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画の策定

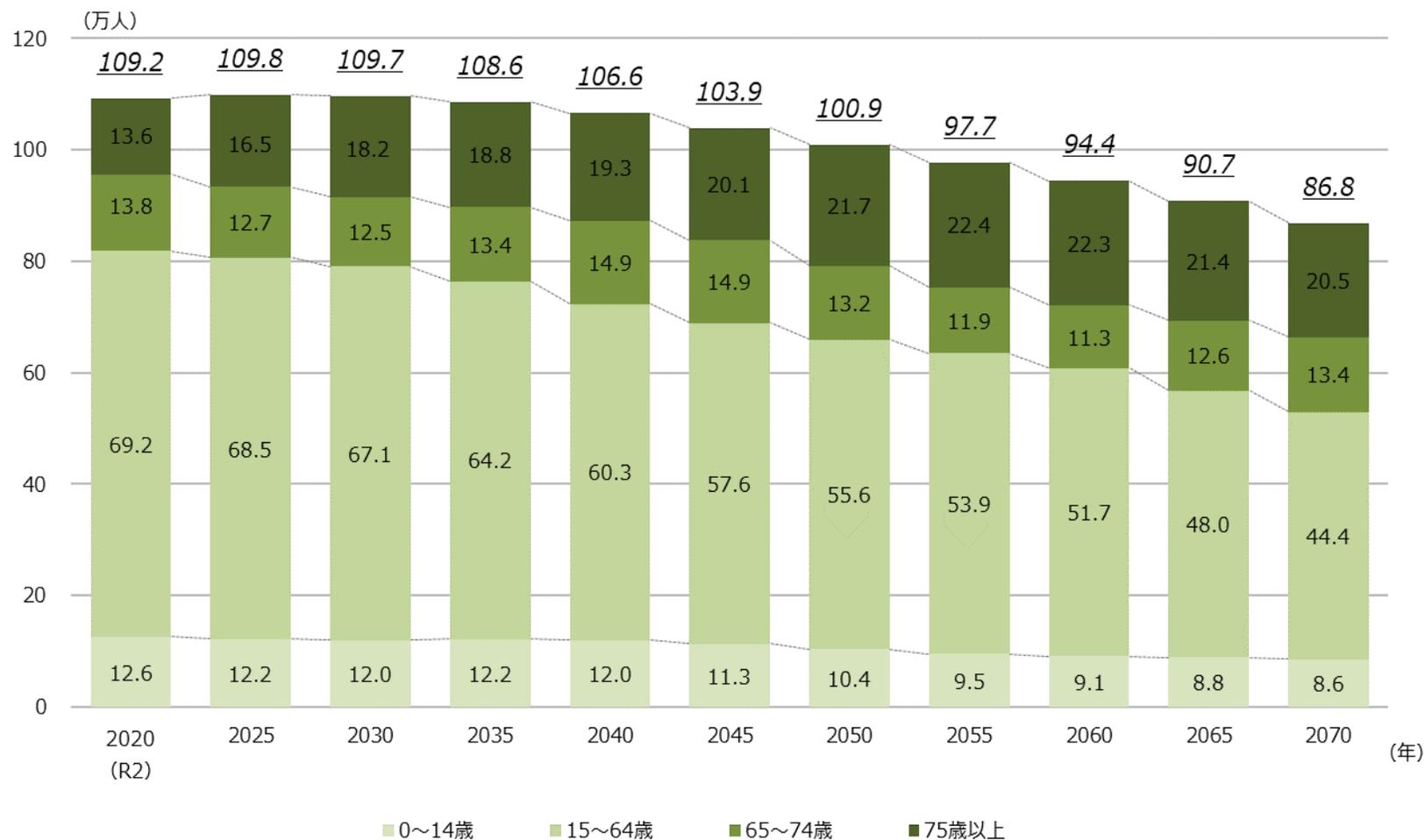
- 各自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、国による支援策等を取りまとめた
- 令和3年夏を目途に、業務改革（BPR）を含めた標準化等の進め方について、手順書が示される予定

## 人口構成の変化への対応

今後、人口減少が進み、少子高齢化がさらに進行します。

地域経済に求められるサービスの質・量が変わるため、DXをはじめとした経営革新を行うことが、サービス産業を主とする本市経済の活力を維持する上で鍵となります。

図 将来人口推計



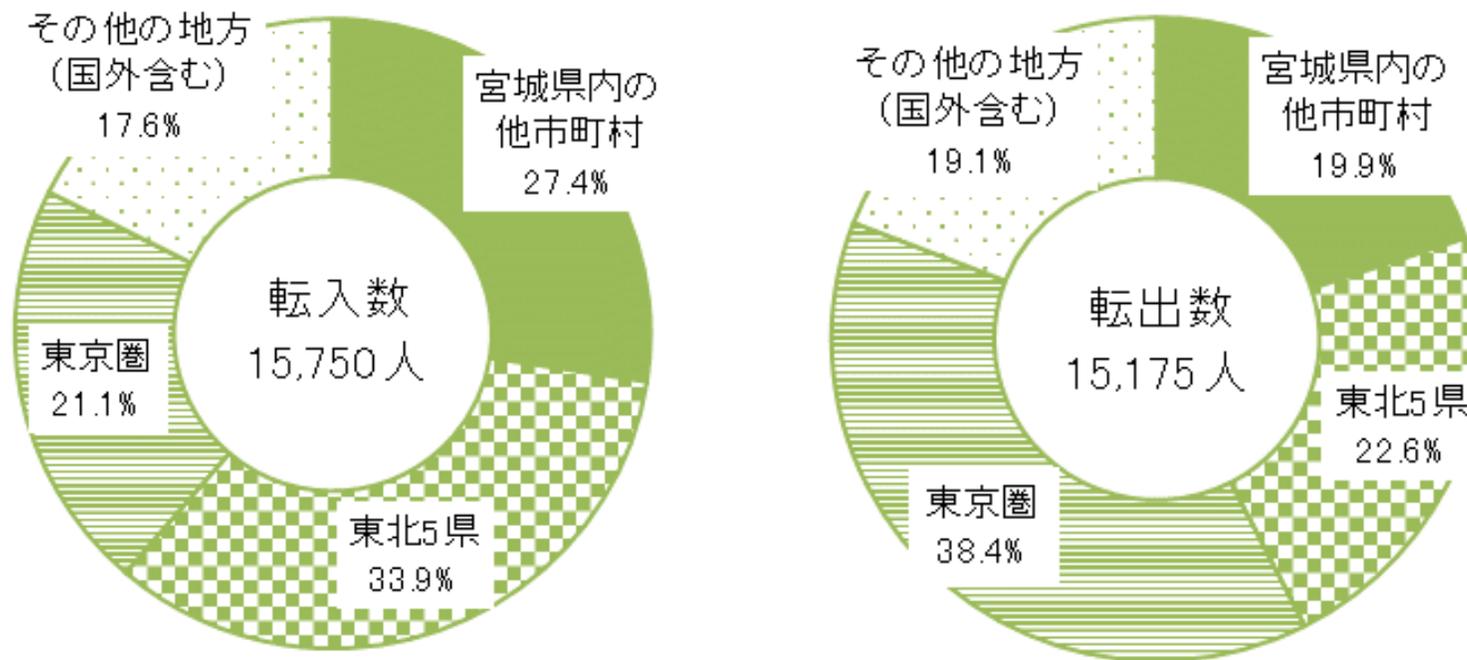
出典：まちづくり政策局資料

## 若者世代の流出抑制

本市の社会動態は、東北各地の若者が10代後半に転入し、20代の就職期に東京圏へ転出するというものです。

転出する若者世代の流れをどう変えるか。これが人口減少対策において重要となっています。

図 転出入の地域別割合 — 20～29歳（2019（R1）年）



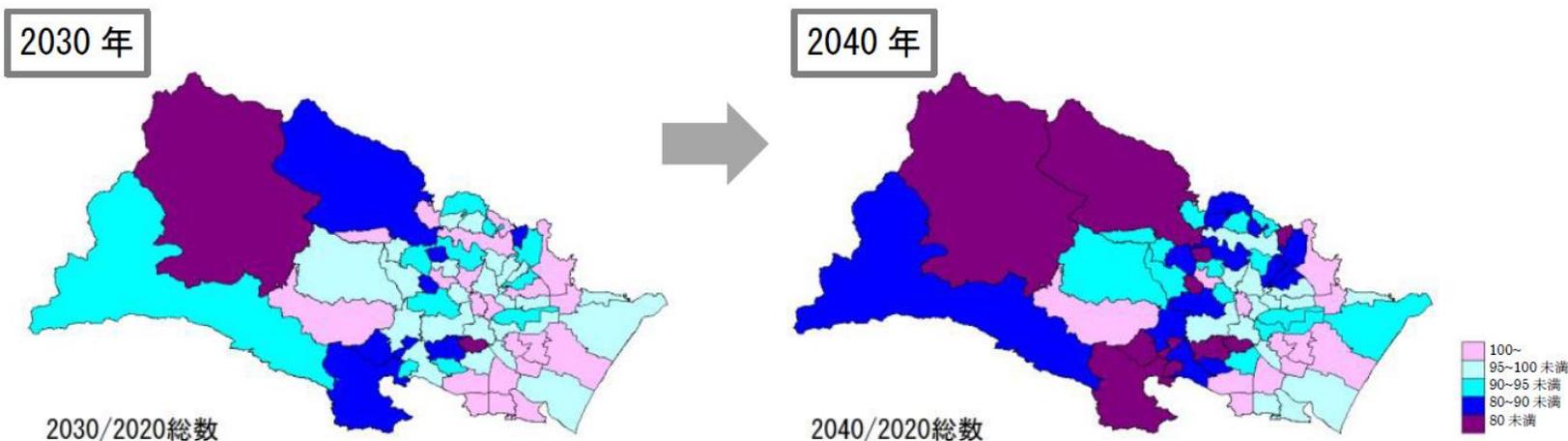
出典：市民局資料 注：住民基本台帳に基づく日本人住民人口

## 地域特性に即した課題の解決

本市は都心部のほか、古くからの山間集落、昭和中期以降に開発された郊外の住宅地など、様々な歴史と特色ある地域から構成されています。

市全体の人口減少が進む一方、地域ごとに見ると進み方は一様ではありません。それぞれの特性・人口減少段階に合わせた細やかな分析・対応が必要となります。

図 中学校区別の人口増減（2020年を100とした場合）



出典：まちづくり政策局資料

## 都心再構築

好調な企業誘致の一方で、都心建築物の老朽化や新規オフィスの供給が減少してきました。

これまで培った緑豊かで潤いのある美しい杜の都の都市環境や、「防災環境都市」としての都市個性を基盤として、その質を高めながら都心の機能強化を図り、本市ひいては東北の持続的な活力の増進につなげることを目的として、せんだい都心再構築プロジェクトを立ち上げました。

図 本市が目指す都心の将来イメージ



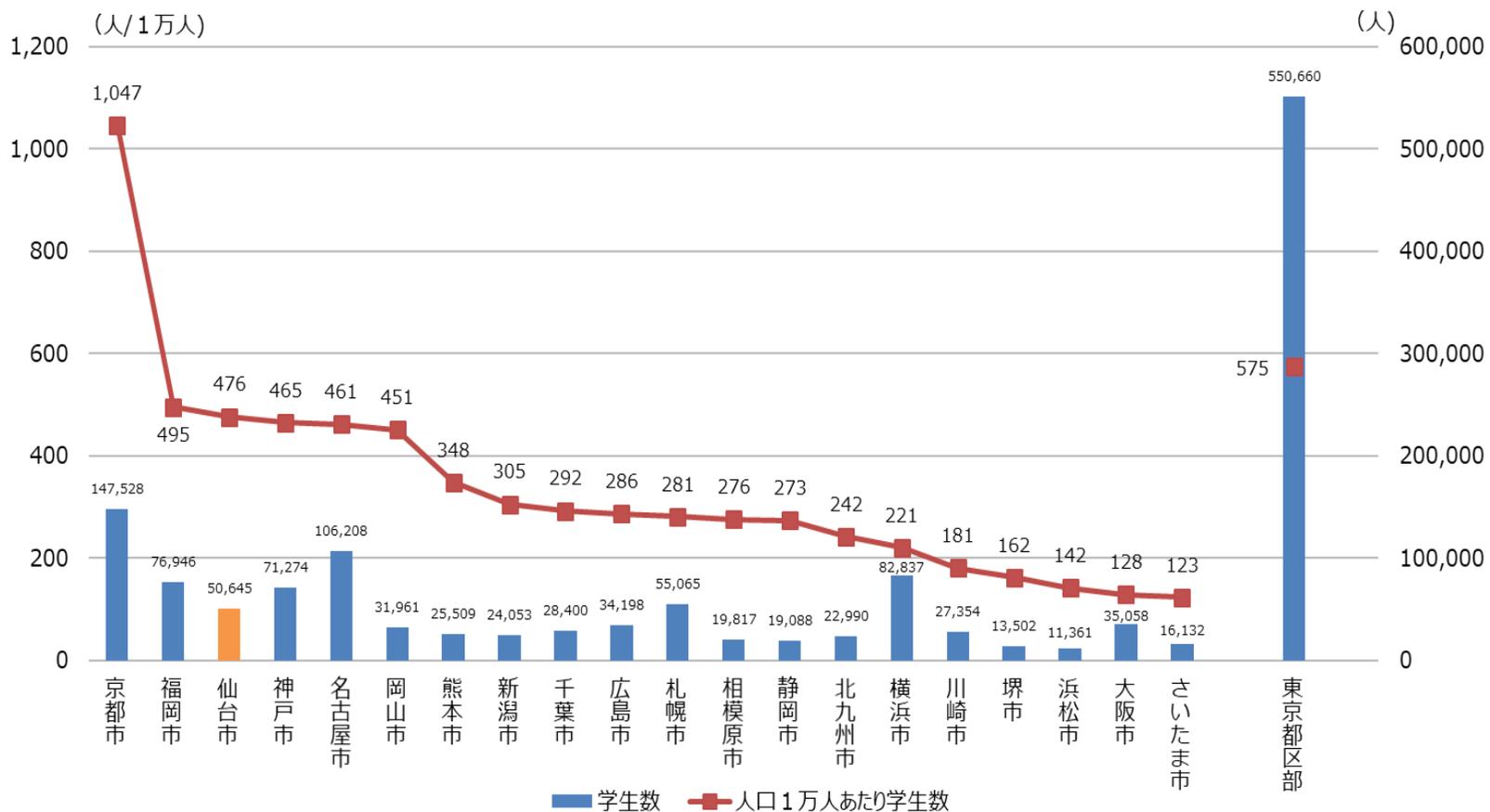
出典：まちづくり政策局資料

## 最先端技術の集積

本市は、人口10,000人当たりの学生数が指定都市で3番目に高いなど、学術機関が多く所在しています。

さらに、東北大学青葉山キャンパスにおいては、次世代放射光施設の稼働に向けた準備が進められるなど、最先端技術の集積が進んでいます。

図 人口10,000人当たりの学生数の比較



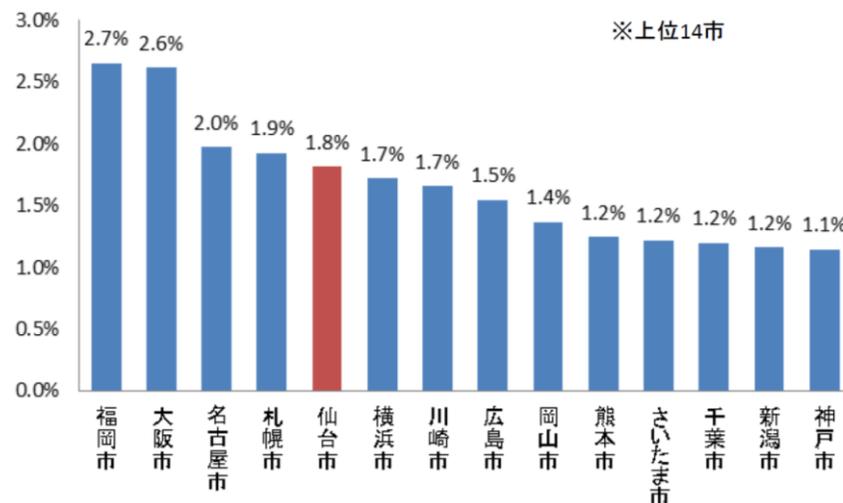
出典：令和2年度学校基本調査（文部科学省）、人口動態及び世帯数調査（総務省）  
 注：学生数は、令和2年5月1日現在。国・公・私立の大学・大学院、短期大学を対象。  
 注：人口は、令和2年1月1日現在。

## ICT関連企業の集積

本市は、東京からのアクセスの良さや、多くの学術機関が所在し、若く優秀な人材が豊富であることなどの強みを生かし、ICT関連企業などの集積が進んでいます。

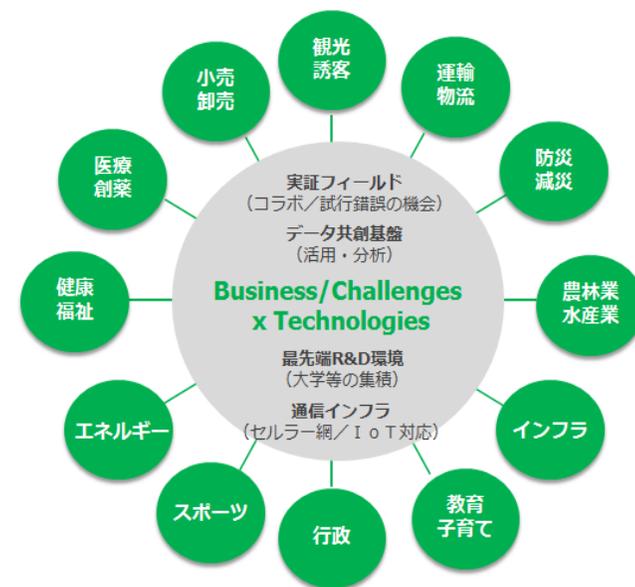
このような強みを生かしながら、IoTやAI、ロボットなどの先端技術と、健康福祉、農林水産業、スポーツ分野等との融合による新事業創出「X-TECH(クロステック)」を推進しています。

図 全産業に占める情報通信業の割合（2016年・民営事業所数）

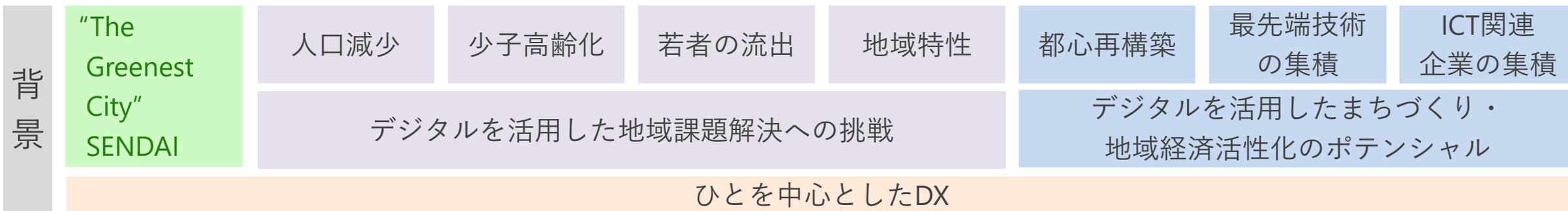


出典：経済センサス活動調査（総務省・経済産業省）

図 X-TECH Innovation SENDAIのイメージ



出典：仙台市経済成長戦略2023



## 目指すまちの姿

### :D-Sendai

デジタルで みんなワクワク スマートシティ

Dに込められた意味

**Digital Transformation**

デジタル・トランスフォーメーション (DX)

**Data Driven**

データ駆動

DATE  
**DATE Smart City**

伊達なスマートシティ

**:D**

喜びやワクワクを示す顔文字

## ひとを中心としたDX

国の「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において示されたビジョン

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、  
多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～

を踏まえ、ひとを中心としたDXに取り組みます。

## 価値創造の源泉：データ

DXにおいては、データが価値創造の源泉となります。収集されたデータを全てのサービスの基礎とし、データとICTを組み合わせ、ひと中心のDXを実現することで、目指すまちの姿の実現に取り組みます。

## 東北地方全体への展開

本市・東北地方がともに発展していくために、自らの地域課題に対し、デジタル化による解決のノウハウを編み出すとともに、そのノウハウの東北地方全体への展開を図ることで、東北地方の持続的発展を牽引していきます。

目指すまちの姿

**:D-Sendai** デジタルで みんなワクワク スマートシティ

施策の視点

交通

最先端技術

教育

健康・医療

環境  
エネルギー

ケア

にぎわい

地域

子育て

防災

共通施策

誰にもやさしいデジタル化

デジタルデバйд対策

行政のデジタル化

手続きデジタル化 業務効率化

デジタル技術

AI RPA アナリティクス 5G IoT

収集されたデータ

全てのサービスの基礎

## 交通

効果

電車・バス・タクシー等の検索・予約・決済をシームレスに行えるようになることで、もっと移動しやすくなります。

例

地域交通での新技術の活用  
MaaSの導入

## 教育

効果

個々に合った学習サービスが提供されることで、もっと学びやすくなり、学んだことがもっと身につくようになります。

例

データ連携を行う学習サービスの提供  
オンライン教育

## 最先端技術

効果

まちに最先端技術が溶け込む実証実験や実装を行うことで、もっと便利に暮らせます。

例

東北大学と連携した  
スーパーシティの取り組み

## 健康・医療

効果

個々に合った運動メニューや食事メニュー、健康相談が提供され、もっと健康になります。

例

個々に合った健康や運動に関する情報の配信  
Health Tech産業の振興

## 環境・エネルギー

効果	省エネルギー行動を容易に選択できるようになり、金銭的負担が減るだけでなく、もっと地球に優しい行動ができます。
例	スマートメーターによる使用量の可視化 まち全体でのエネルギー構成の最適化

## にぎわい

効果	ICTの活用で商店街がもっと便利になり、売上が向上します。また、デジタルで効果的に誘客することで観光客がもっと増えます。
例	デジタルマーケティング 事業者のデジタル化支援

## ケア

効果	介護等の分野で個々に最適なケアメニューが提供されることで、もっと自分らしく多様な生活が送れるようになります。
例	個々に合ったケア情報の配信 CareTech産業の振興

## 地域

効果	地域ごとの課題がデジタルで解消され、慣れ親しんだ地域コミュニティでもっと暮らしやすくなります。
例	電子回覧板やIoT利用による効率化など、 地域課題に応じた取り組み

## 子育て

効果	手続きや幼保教育、子育て支援サービスなどの子育て情報の配信で、もっと子育てがしやすくなります。
例	個々に合った子育て情報の配信

## 防災

効果	緊急時に最適な避難場所をプッシュ通知することで、もっと素早く危険から身を守れるようになります。
例	プッシュ型避難誘導 BOSAI-TECH産業の振興 災害予測

## 誰にもやさしいデジタル化

**効果** デジタルが苦手なひとにも親しみを感じて、もっといろいろなサービスが使えるようになります。

**例** ユーザーフレンドリーなUI設計  
サービスの多言語化  
デジタル機器の使い方講座

## 手続きのデジタル化

**効果** 手続きがいつでも、どこでもでき、もっと簡単になります。

**例** スマートフォンからの申請  
キャッシュレス決済の導入

## 市役所業務のデジタル化

**効果** ICTを使ってもっと業務を効率化し、相談などの業務にリソースシフトすることで、もっと親しみやすい市役所になります。

**例** AI、RPA、クラウドサービスの利用  
テレワークなど効率的な執務環境の整備  
情報システムの標準化

## 基盤整備

**効果** 市役所業務のデジタル化を支える強固な基盤があることで、データが守られます。

**例** 強靱な情報セキュリティの確立  
既存の制度や仕組みの再整備  
災害時や緊急時の備え

## 数値目標

- 本計画における2023年度末までの数値目標を設定する予定です

## 進捗状況の管理

- 事業ごとに設定した進捗状況について定期的に評価・点検を行います
- その時の社会情勢等に十分留意し、必要に応じて事業の方向性や目標設定の見直しを随時行いながら、本計画の策定目的の達成を目指します
- 事業の進捗状況等については、進捗度を確認することができるようにするなど、市民に分かりやすい形で公表します